

第96回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日時 平成30年6月14日(木)
午後13時30分～午後14時45分

場所 本学 大会議室

出席者 (外部委員) 飯塚 雄一 委員
春日 順子 委員
鶴原 栄美子 委員
(内部委員) 岡安 誠子 副委員長
中川 忠彦 委員
橋本 由里 委員
秦 幸吉 委員長
藤田 小矢香 委員

※(五十音順)

(記録) 佐々木泰輔 (事務室管理課)

No. 240の審査について、橋本由里委員は申請者のため審査から除外し7名で審査を行った。

〈議事〉

1. 申請(3件)の審査について

1) No. 239

申請者：平松 喜美子

課題名：一次予防を目的とした高齢者介護予防教室の有効性をフレイルの視点からの評価

結果：【条件付き承認】

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

- ・ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度審査委員会で確認させていただきたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) 共同研究者の役割を研究計画書に記載すること。

(委員) 共同研究者が研究を発表する際には題名も変わると思う。その場合には別途、委員会に申請をいただきたい。

(申請者) 承知した。

(委員) スケジュールによると事前説明会と介護予防教室開始前の調査、ミニ講座については開催済みのようなのだが、既に実施しているのか。

(申請者) 実施済である。健康教室と研究は別である。研究については倫理委員会の承認後に開始する。

(委員) 健康教室を毎年開催されているのであれば、今後は早めに申請されたい。

(申請者) 承知した。

2) No. 247

申請者：伊藤 智子

課題名：七田式脳トレーニング法による健常高齢者の認知機能への影響

結果：【承認】

3) No. 240

申請者：橋本 由里

課題名：小中学生の情動知能とストレスとの関連

結果：【条件付き承認】

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

- ・ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度審査委員会で確認させていただきたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) 同意書等に児童・生徒の名前を記入する欄を追加すること。

(委員) 回収したアンケートについて誰がどの時点でコード化するかを研究計画書に記載すること。

(申請者) 承知した。

2. 申請（2件）の審議について

1) No. 250

申請者：佐藤 公子

課題名：島根県中山間地域で疾患をもちながら生活する高齢者の生活困難感とそれに対するサポートの現状

結果：【審査対象外】

理由：申請者は本学教員だが、共同研究者の学部生の卒業研究だと思われる。学部生の研究は審査の対象外である。

2) No. 251

申請者：佐藤 公子

課題名：スマートフォンの利用による生徒とその保護者の問題意識の検討

結果：【審査対象外】

理由：申請者は本学教員だが、共同研究者の学部生の卒業研究だと思われる。学部生の研究は審査の対象外である。

3. 迅速審査で承認した申請（8件）の報告について

以下の8件について迅速審査で承認したことを秦委員長が報告した。

1) No. 227 変更

申請者：原 真紀（院生）

課題名：内分泌療法を5年以上継続する術後治療過程にある初発乳がん患者の心理的状況

2) No. 244

申請者：佐藤 公子

課題名：自然災害時の避難行動ならびに非常食・衛生材料の準備状況に関する調査（2）

3) No. 242

申請者：小田 美紀子

課題名：重要他者によるコーチング的な関わりと青年期の自己肯定感・心理的自立との関連

4) No. 245

申請者：吉川 洋子

課題名：島根県における看護師特定行為研修の検討

5) No. 223 変更

申請者：高橋 望（院生）

課題名：介護老人福祉施設入所者の口腔ケアにOHAT-Jを用いた客観的評価

6) No. 241

申請者：川瀬 淑子

課題名：看護師の臨床判断力尺度の信頼性・妥当性の検討

7) No. 243

申請者：石橋 照子

課題名：糖尿病療養者に対するうつ予防のためのヘルスツーリズム実施による効果の検証

8) No. 238

申請者：平松 喜美子

課題名：島根県中山間地域におけるフレイル予防のための運動に関する介入研究

4. ホームページの開設について

ホームページの開設について藤田委員より資料をもとに説明があった。

～ 以上 ～

議事記録者名(事務室管理課：佐々木泰輔)